

**一組総支部
野球大会決勝戦開催
11月27日(金)
12時集合13時試合開始**

東京清掃労働組合

一組總支部通信

一組總支部 事務局 執行委員長
一組本庁支部内 岡沢 徹
fax6238-0504
tel6238-0502 編集
e-mail 教宣部長
seisou-ichkumi 福田雄一
@w7.dion.ne.jp



東京清掃企画部
一般技術部

廣
學
大
成
抗
爭
要
事
實
質
敵

連帯の挨拶と経過報告

A group of people wearing red bandanas and blue vests are gathered indoors. In the foreground, a man with glasses and a white shirt under his vest is speaking. The text on his vest reads '企画委員会 岡沢委員長'. To his right, another man holds a small object. In the background, several other individuals in similar attire are visible, some looking towards the camera.

A medium shot of a man with grey hair, wearing a blue zip-up jacket over a white shirt. He is holding a black microphone and speaking. In the background, several other people wearing red headbands are visible, some holding blue and white flags. The setting appears to be an indoor hallway or entrance.

業務では工場に対する愛社精神みたいなものがありました。不具合があれば状況判断をして最善の方法を模索し、自らが善処してきた実績とプライドがありました。一方、委託では、利益をあげなければならぬ組織ですから、2億8千万円という多額の請負金額にもかかわらず運転管理仕様書

ありません。直當係では、その都度、臨機応変に対応し、事故の未然防止を実践してきたのです。

一組におかれましては、こうした実態を真摯に受け止め、真に安全で安定的な運営はどうあるべきものか、今後の運営に携わる若い職員たちが、本当に運転業務をせずに訓練センターなど

館に於いて、東京清掃本部と一組総支部、組合員全体で157名が参加し、民間委託反対撤回を求める署名を持参し、要請行動が実施された。

場の確立を、皆で築いていく
こうと経過と報告を行った。
清掃本部西川委員長は、
委託攻撃は、東京清掃全休
に関わる問題として、清掃
本部各支部の参加をいたた
いてアウトソーシング反対
の運動を展開している。品
川の死亡事故では、若い尊
い命を失ってしまった。安
全に安定した清掃の一環と
して流れを貫くために団結
して闘おうと激励した。
続いて一組総支部内山会
計より、シユブレヒコール
が読み上げられ、全員で繰
り返し唱和した。

委員長より、委託提案に反対する要請文を読み上げ、次に一組総支部相田副委員長より署名の内容説明があり、一組総支部小久保組織部長により反対署名（家庭署名あり）も含め、全体で10916筆の署名を提出した。

一組総支部中里書記次長による進行で、各支部代表による委託反対要請が開始された。初めに北工場支部青木代表が発言した。

9月18日、貴組合は来年度の運転管理等の業務委託を、7工場から港・千歳工場の2工場を追加し9工場

私たちのはこの3年間、委託された工場の当事者として、本当に経営改革プロンで示してきた安全で安定的な運営が果たして実行出来たのか疑問であり、ここに反論すると共に、今回の提案の凍結を求めるものです。1年前、私たち北工場は運転監理等の業務を東京工コサービスに委託され、今年4月には運転係の全面委託が強行されました。その結果、北工場がどうなったかを検証し、運転管理等の業務委託について見直すよう訴えたいと思います。第一には、人數的には

に記載されたこと以外は実施しないことです。

そのため仕様書に記載されなかつた業務については、屋上屋を重ねるように別に委託がされ、余計な費用が嵩んでいるのが実態です。しかも、この1年半の間では大惨事や炉停止による事故になりかねない事態が頻発しています。

炉立上げ時のマニュアルからの逸脱、インターロックの見落としによる故障の発生、点検時の危険予知の

9月18日の清掃工場運転業務委託提案に対しても、問題の多い工場運転係業務の委託化に対し、撤回もしくは凍結を求める強い要請を行いました。東京清掃労働組合としても賃金確定闘争など、併せて主要課題として取り組み、23特別区各区に区長宛の「清掃工場の新たな委託化の撤回を求めて要請行動を実施してきたところです。多くの区においても真剣に聞いてもらうこともできました。

しかるに、一組における専門委員会交渉や課長交渉では、現場からの声や解明要求等に対し、はじめに経営改革プランありきで、ほとんど当局は満足な回答を示していないと聞いています。この間、国で推し進

めた新自由主義は、多くの非正規雇用者を生み出し、人材派遣に象徴されるようにワーキングプアと呼ばれる人たちが巷にあふれる状況を作り出しました。そして弱肉・強食のこの金融優先の資本主義は、雇用制度や医療制度ばかりでなく日本の旧来からの技術・技能をも根底から破壊し始めました。その結果、日本は「先進国から後進国への後戻りをし始めた」と指摘されるとまでになってきていました。この間のむやみな委託化により、一組も技術・技能が破壊されるという同じ道を歩んでいると言わざ

るをえません。今までの政権に日本国民は、明確に「ノー」をつきつけたように手遅れにならぬいうつに、一組もこの委託至上主義から大胆に転換すべきです。強い企業」たる秘訣は「現場力」にあるという考え方が、製造業を中心

弊した公共サービスの再生を担い得るのは、公共サービス労働者の「現場力」とそれを政策に活かすことのできる自治体だ』と自治労は主張しています。まさに『そのとおりであります。清掃労働者がごみを収集する場合でも、袋をもてば

一組当局がいうコスト削減や民間活力導入を区長や一組織員に説明するより、現実に委託業者によつておきた死亡事故や一組職員がベテラン職員の流失により、訓練センターを設立しなければならなかつた経緯を正しく区長や住民に説明すべきです。

運転管理業務委託が4年間経過した現在、経営改革プランの工場の安全と安心な安定的な操業を継続するという約束はどうなつているのでしょうか。住民は工場操業が安全でなければ、安心とは思えません。一方労働者は生活が安心・安定でなければ安全・確実な作業は困難です。知識・経験もなく生活する不安定しない人材派遣の多い状況に委託業者を管理してきた区派遣

職員や委託業者と共同作業をしかねないべテフン設備管理職員は頭を抱え込んでいるのです。運転管理業務委託の4年間は委託工場にとって安全で安定的な工場操業を継続できたとはいがたいのです。

いままで委託した工場の実態を直撃に検証検討するならば新たな委託はできなはずです。私たちは、完全で安心な清掃工場を作ること、一度も死亡事故を起こす工場が出ない清掃行政を築き上げることを求め、ここに東京清掃労働者及び家族並びに凶に働く労働者の1万筆を越える「清掃工場の民間委託撤回を求める署名」を提出します。

当局は、我々の熱い思いを受け止め、今回提案を撤回していただきたい。

委託提案に反対する要請

暮らしに立つ
役に立つ
全労済
東京労金
セレモア
つくばまで
支部役員まで

活動予定と日程

1月6日 一組總支部
執行委員会

1月1日 課長交渉

1月3日 一組總支部
常任委員会

1月7日 一組總支部
支部代表者会議
常任委員会

賃金確定闘争、集会参加

野球大会決勝戦の実施、
組織対策、異動問題、
安全衛生課題、労働災害
対策 廃プラ、委託検証、
署名行動 組織問題等